

平成29年度 江陵高等学校 取り組みと反省

建学の精神	教育の機会をここに開拓し、創造性、自主性をもって行動思索し、個人の能力が十分に伸ばしうる学舎であることを創設の精神とする。
-------	---

重点目標	人間性豊かな個性の伸長と創意工夫に富む教育活動の推進に努める。 ○ 生きた学力と実践力を身につけさせる。 ○ 自己を確立し共に歩む心を育てる。
------	---

各学科の概要	<p>〈福祉科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化社会に不可欠な介護の専門家を養成する学科 ● 福祉専門科目を学び、各種の実習授業やボランティア活動を展開しながら体験的に学び、各種資格・検定取得を通じて幅広い知識を習得させる。 ● 3年間で介護福祉士国家試験受験資格が取得できる。 ● 卒業後の進路は、主に福祉関係に就職。他に大学・短大・看護学校への進学実績がある。 <p>〈普通科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進学・就職を目指す幅広い学科 ○ 3年間で『英語検定』『漢字検定』『危険物取扱者』『商業簿記検定』『文書処理検定』『普通救命講習修了証』など、様々な進路に対するために各種検定・資格が取得できます。 ○ 進学希望者は、進学講座や進学模試を受け、数多くの大学進学の実績があります。
--------	---

平成29年度の取組

学校自己点検・評価シート等で取り組んだ結果を年度末に評価・達成状況を確認する。 評価の低い項目については次年度に向けて改善の方策を検討する。

評価項目	取組目標	取組	達成状況・反省
教育活動	自主的かつ主体的に取り組む環境の充実	福祉科・普通科ともクラブ活動の加入率も高く、学習意欲の高い生徒も多い状況からホームルーム・授業・クラブ活動を通じて学習・進路に対する意識を高めさせる。	全体を通して積極的にボランティア活動等が地域から評価された。クラブ活動においても活発な活動を1年間通して行うことができた。戦績面も大いに評価できる。とくに2年連続で全国大会に出場した陸上・書道部は立派なものであった。進路関係では様々な取り組みによって方向づけすることができた。また、生徒自ら進路に対して積極的に考えて取り組むことができた。 A

教育活動	確かな学力の定着及び生きる力の育成に向けた取り組み	授業・家庭学習・定期試験・模擬試験等を充実させ、進学・就職・国家試験（介護福祉士）等の対応に努める。また、規範意識・道徳心を育てると共に、生徒の生きる力を育成する。このためには教員間の連携や家庭との連携を図り、学力の向上と生きる力の伸長をさせる。	基礎学力テスト・公務員模試・就職模試・医療看護模試・福祉科施設説明会・生徒対象進路ガイダンス・三年生父母対象進学説明会などを実施することによりスムーズに進路指導を進めることができた。 A
------	---------------------------	---	--

	生徒による授業評価結果に基づく授業改善 (実施済み)	公開授業(校内研修・三校教育交流会)などを通して、教育力の向上を図り、確かな知識・学力の定着を図る。日頃から各教科で十分に教材研究の準備等をして授業力の向上に繋げる。アンケート結果については集計後にホームページにて公示する。	教育の向上を図り、確かな知識・学力の定着を図ってきた。各教科とも十分に準備・工夫をして着実に授業力の向上につながっている。今後は学習意欲の低い生徒をいかに底上げしていくかが課題である。 A
学校生活への配慮	学校生活	基本的な生活習慣(欠席・遅刻)・問題行動等に対する指導を適切に家庭とも連携を取りながら行う。また、クラブ活動の中でも人間形成を向上させる。勝利第一主義的な指導はさける。体罰・暴言による不適切な指導はしない。させない。	生活態度は概ね良好であった。町民の方からゴミ拾い・除雪ボランティアでの感謝のことも多く頂いた。しかし、自転車の乗り方について数件の指摘があり指導をしたことがあった。教員の指導にも改善をしなければならない反省点もあった。 A
	生徒に合わせた指導	生徒の家庭環境などの多様化にマッチした指導と家庭との連携を図る。そのためには担任・学年団・各分掌・保健室・クラブ顧問等が情報交換を常に行い、素早い対応と問題行為等の防止への取り組みを継続して行う。	人間関係や個々の問題で悩みを抱える生徒がいた。教員間の情報交換を緊密にし、家庭とも連携とりながら今後も生徒の悩みを早期に発見して解決に努める。 A
	いじめ・体罰防止のための取り組み	いじめに関して、定期的に生徒・保護者・教員のアンケートの実施を行って防止に努める。教員間で情報交換を日常的に行い防止に努めて疑いのある事案については早期解決に向けて素早く対応する。	生徒の様子や動向を観察しながら、いじめや体罰の無い学校生活を維持する。 反省点として予定していた回数アンケート調査を実施することができなかった。 B
課外活動	生徒会活動の充実	文化祭や予餞会などの行事において、生徒が主体的、自主的に活動できる環境を充実する。	生徒会が学校祭・球技大会等の計画立案を自主的に遂行した。特に行灯などは多くの町民から注目され喜ばれた。 A

	クラブ活動の意義	スポーツ・文化を通じて基本的な生活習慣と礼節を学ぶことにより他人に対しての思いやりや縦の繋がり(上下関係)・横の繋がり(同級生・友達)との人間関係をバランスよく自然と身につくことに期待が持てる。また、クラブの活動を通して授業の大切さと自分の将来について深く考えさせる。	挨拶・礼儀等は来校された方からもお褒めの言葉を頂くことがあった。戦績の結果に伴い学校全体がさらに活気ある方向に進んでいる。 勝利することだけでは得ることのできない人間教育が実践できた。 B
	クラブ活動の活性化	自ら進んで練習等に励んで、勝つことの喜びや負けたことに対する反省や挫折をばねにして、前向きに行動の取れる人格を養う。生徒が理解できるように辛抱強く時間をかけて指導をする。	今年は、スポーツ系14・文化系2のクラブで北海道大会に出場を果たしている。また、北海道大会で野球・女子バレー・バトミントン・陸上においては上位進出を果たしている。書道部・陸上部においては全国大会に2年連続で出場している。 A
進路指導	基本方針	生徒が自主的に進路を選択して、目標の実現に向けて計画的・組織的な進路指導を行う。	模擬試験・進路ガイダンス・説明会など計画に基づいて実施することができた。次年度も継続して実施する。 A
	重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① HR活動などを通じて進路の目標を早期に決定させ、意識をもって学校生活を過ごさせるようにする。 ② 家庭と担任と連絡を密にして情報を共有し、スムーズな進路決定を目指す。 ③ 進路通信などを通じて生徒や職員に随時情報を発信する。 ④ 教務部・生徒指導部・広報部とも連携し、全体の関わりによって適切な指導を行う。 ⑤ 幅広い選択肢を設けられるよう企業・施設・進学先の学校との繋がりを維持しつつ新規開拓にも努める。 ⑥ 国公立大学・看護系希望者を発掘・育成・探求し、昨年度に引き続き合格者が出るよう取り組む。 ⑦ 進路設計意欲を高めるために、個別指導を強化し、適切な指導・助言に努める。 	特に3年生については早い時期に三者面談等を行い進路の方向性を決定することができた。 手続等では進路指導部と担任の連携により大きなミスもなく指導ができた。 A

保健衛生	教育相談体制の充実	相談室内の環境の改善を行う。また、担任・保健室・生活指導部との連携を強化し、複数教員でのサポートを行う。生徒の悩み（対人関係・クラブ等の悩み・家庭の悩みなど）情報収集によって早期解決を目指す。また同時に学習の遅れがないように教科指導も行う。	本校では養護教諭に生徒が自分の悩み（クラスの人間関係・異性・家庭等）を相談していた。このことによって情報が共有されて問題や悩みを解決された生徒もいた。学校と家庭とが連携して問題解決に今後とも取り組む。 B
	インターネットの安心・安全な利用を学ぶ講座	e ネットキャラバン 『インターネットの安心・安全な利用を学ぶ講座』 対象生徒 337名（全校生徒） 講師 e ネットキャラバン 派遣講師 (株) ヒグマ 飛岡 抗 様	携帯電話でのトラブルが数件あった。実態を把握してトラブルを未然に防ぐことが今後にも必要である。 SNSにおけるトラブルもあった。もともとはコミュニケーションをとる手段として利用されるものだが、その使い方を間違えるとトラブルに進展する。次年度も講演・授業・LHR等で指導を継続する。 B
広報	中学校に対する 広報活動 生徒募集活動	① 中学校訪問の企画 ② 一日体験入学企画・立案 ③ 学校通信（福祉科・普通科） ④ 新入生メッセージ入りポスター ⑤ 学校案内・学校ポスターの作成 ① 校内外での生活指導の徹底 ② 確かな学力と生きる力を育てる。 ③ クラブ活動の活性化と人格形成 ④ 地域の行事への積極的参加 ⑤ 就職・進学 出口の確保	中学校側には「江陵 NEWS」・「願いは叶う」などの学校通信を通じて本校の生徒の活動やクラブでの実績・進路状況を伝えることができた。 体験入学もクラブの顧問の働きかけによって、ある程度の参加者は確保できた。 生徒募集では統合の影響を心配していたが多くの新入生を迎い入れることができた。次年度も本校の教育活動や生徒の生き生きとした様子を伝える広報活動を行う。 A

※【A達成できた、 B大体達成できた、 Cあまり達成できなかった、 D達成できなかった】